

施設利用者や利用しない人、施設に無関心な人など**様々な立場・年代の方々が参加し、「地域内施設のより良い使い方」**について、**フラットかつ明るく、前向きな意見交換**を行うことで、本市が行う施設の適正配置検討に繋げる。

## 1 対象者

モデル地域ごとに36名程度（4地域で計144名程度）、1グループ6名、6グループ程度で実施する。

【モデル地域ごとの参加者の内訳】

- 無作為抽出により選出した各地域の市民  
10～20代／30代／40代／50代／60代／70代以上 各5名程度、合計30名程度  
※各モデル地域1,500名を無作為抽出。意向確認を行い、参加の御意向があった30名程度について御参加いただく。
- 町内会関係者 6名程度

## 2 内容

「地域内施設のより良い使い方」について意見交換を行うためには、把握・分析した地域・施設の状況とともに、川崎市の資産マネジメントに関する考え方や必要性、効果等を丁寧に説明することが必要。

よって、ワークショップについては**1回限りではなく、令和5(2023)年度以降複数回開催する形式とし、参加者は原則、各回のワークショップに参加し、意見交換等を行っていただくものとする。**（ワークショップは土日祝の半日程度を予定）

【各回の内容】

- 資産マネジメントについて**考え方を説明**するとともに、**公共施設の未来体験ゲーム**を通じ学習（第1回）
- 施設・地域に関する分析等を踏まえ、地域内での**低利用施設を例示、当該施設のより良い使い方検討**（第2回）
- 地域について区分けした**エリアごとに、施設のより良い使い方検討**（第3回以降）

## 3 意見交換の進め方

- 将来の人口減少や施設の老朽化等も踏まえながら、個別施設に関する意見・要望を聞くのではなく、低利用施設を中心として、「**どうすれば施設はより良く使えるか？**」について意見を出してもらう。
- 参加者の意見に対し、「**なぜそう思うか？**」「**なぜそれが課題なのか？**」と深掘りすることで、**参加者が考えるより良い使い方を考え、施設の適正配置を全体で共有**する。
- また、具体例を交えつつ、「**こうすれば良くなる、もっと今ある施設が使えるようになる**」といった**意見や、施設のより良い使い方のイメージを全体で共有**することで、**参加者が明るく、前向きに最適化を考える雰囲気づくり**を目指す。

# 地域ごとの資産保有の最適化検討に関するワークショップについて

## 4 日程・場所

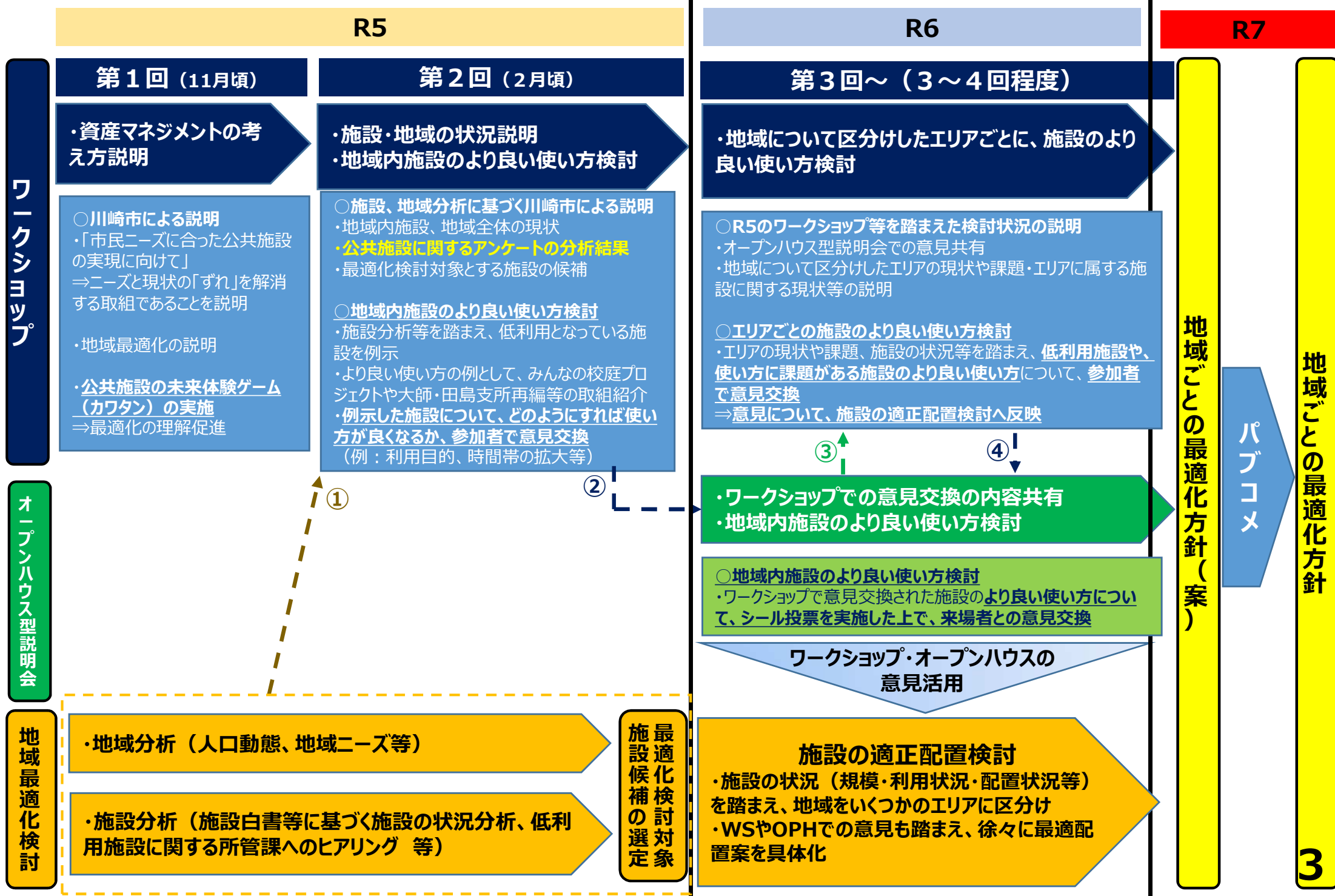
以下のとおりの日程・場所にて開催し、各区・各回とも午後の実施を予定。

	第1回	第2回	会場
川崎区	令和5年11月19日(日)	令和6年2月17日(土)	本庁舎復元棟301~303会議室
幸区	令和5年12月10日(日)	令和6年2月10日(土)	幸区役所第1~4会議室
高津区	令和5年12月17日(日)	令和6年3月2日(土)	高津区役所第1・2会議室
麻生区	令和5年11月18日(土)	令和6年2月4日(日)	麻生区役所第1会議室

※川崎区：川崎・渡田・富士見地域、幸区：平間・御幸・南河原地域、高津区：西高津・高津・東高津地域、麻生区：柿生・麻生・王禅寺中央地域

※会場は第1回・第2回とも同一

# ワークショップ等を通じた意見交換について



## 【目的】

公共施設を利用する市民・しない市民、双方の視点から以下の点等について状況を把握し、WSにおける施設のより良い使い方検討及び本市にて行う施設の適正配置検討に活用する。

### (利用する市民視点)

○利用者の傾向（施設分類ごとの利用頻度、時間帯）

### (利用しない市民視点)

○利用しない理由（生活上利用する必要がない、使いたい時間に空いていない、場所が不便 等）

## 【対象者】

○ワークショップの無作為抽出者（R5.4.1時点で15歳以上） 各地域1,500名

## 【時期】

○令和5年9月下旬頃～10月中旬頃（ワークショップの案内と同時にアンケートを送付）

## 【アンケート項目（案）】

P5のとおり。アンケート項目について、回答を基に、上記目的に資する分析を行う。

（分析例）

- 10代～20代は、主に「生活上利用する必要がない」という理由から、公共施設を利用しない者が多い。
- 30～50代も、公共施設全体の利用は多くないが、夜間（17時～）の体育施設利用や、日中のこども文化センター（親子イベント等と推測される）利用など、一定の利用がある施設も見られる。
- 公共施設が使われていない理由として、「そもそも知られていない」「使いたい時間に空いていない」といったことも理由として挙げられる。

【アンケート項目（案）】

1 基礎情報 年代、世帯、職業、居住年数、賃貸or持家

2 本市の施設に関する設問

(1)【施設ごとの利用頻度、主な時間帯】 あなたは、過去1年間に本市の施設をどの程度利用していましたか。また、主にどの時間帯で利用していましたか。以下の施設ごとに該当するものを1つ選んでください。（帳票イメージは次ページ参照）

＜対象施設＞ ※地域ごとに（ ）で対象施設を記載（以下では、麻生区の例を記載）

- ①庁舎（麻生区役所、柿生分庁舎） ②市民館（麻生市民館、麻生市民館岡上分館） ③図書館（麻生図書館）
- ④こども文化センター（柿生、麻生、虹ヶ丘、岡上、白山、王禅寺） ⑤老人いこいの家（岡上、麻生、白山、王禅寺）
- ⑥体育施設（麻生スポーツセンター、白山中学校跡地のグラウンド・体育館、ヨネッティー王禅寺） ⑦文化施設（アートセンター）
- ⑧福祉施設（福祉パルあさお） ⑨その他（あれば施設を記載してもらう）

ア 利用頻度

- ①よく利用した（1か月に1回程度以上） ②時々利用した（1～2か月に1回程度）
- ③たまに利用した（2～6か月に1回程度） ④ほとんど利用していない（6か月～1年に1回程度） ⑤1度も利用していない

イ 時間帯

- ①～12時 ②12～17時 ③17時～ ④1日 ⑤1度も利用していない

（以下、(2)・(3)は、「2(1)ア 利用頻度」で④または⑤を1度も回答した人に対して）

(2)【利用しない理由】 施設をほとんど利用していない、または利用しない理由を教えてください。（複数回答可）

- ①生活上利用する必要がない ②類似の民間施設を利用している ③場所が不便 ④施設がどこにあるかわからない
- ⑤有料である ⑥利用できる年代に制限がある ⑦どんな施設かわからない ⑧団体でないと利用できない
- ⑨使いたい時間に空いていない ⑩その他

(3)【求めるもの】 利用していない施設でこういうことができるなら使いたい、ということがあれば御記載ください。（複数回答可）

- ①手続きや届出 ②福祉や暮らしの相談を受けられる ③会議や集会 ④発表会等のイベント ⑤運動
- ⑥勉強や読書 ⑦飲食 ⑧検診 ⑨地域活動 ⑩ダンス・音楽等の練習場所 ⑪避難場所 ⑫その他 ⑬特になし

3 その他 公共施設に関する本市への御意見がありましたらお聞かせください。（自由記載）



## 1 ワークショップ等を通じた施設の適正配置検討の進め方について

- 昨年度第3回委員会にて、市民参加についてはWSに参加しない方の御意見も重要、様々な手法を駆使することが大事、といった御意見をいただきました。
- いただいた御意見も踏まえ、P3に記載のとおり、WSだけではなく、オープンハウス型説明会も実施することで、地域にお住まいの**不特定多数の方々から御意見を伺いながら進めていきたい**と考えております。
- 一方で、地域ごとの**施設の適正配置検討**については、**本市にて施設の状況等をしっかりと分析し、別途提示**していく必要があると考えております。
- WS等における御意見については、本市が行う施設の適正配置検討に活用したいと考えており、そのためにも、**WS等にて「施設のより良い使い方」について議論**することが重要と考えています。
- こうした進め方について、**必要な視点等**がありましたら御意見をいただきたく存じます。

## 2 公共施設を利用しない方々へのアンケートについて

- 昨年度第3回委員会(令和5年3月15日実施)にて御意見いただいたとおり、ほとんど施設を使っていない方々(※)へアンケートを行い、公共施設の活発な活用に繋げていくことが非常に重要と考えています。  
(※)御意見いただいていた若年層も含め、無作為抽出により幅広く各世代にアンケートしたいと考えています。
- よって、アンケート項目(案)を通じて、**利用しない理由や施設に求める機能を確認**したいと考えています。
- 確認した内容を分析し、ワークショップ(WS)で共有することで、施設のより良い使い方検討に関する活発な議論に繋がりたいと考えております。そのために、利用しない理由や施設に求める機能の他、**確認しておくべき視点**がありましたら御意見をいただきたく存じます。